

## 第1回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事要旨

1. 日時 平成 18 年 10 月 19 日(水) 15:00 ~ 17:00

2. 場所 笹川記念会館 4階 飛龍の間

3. 議題

(1) VOC 排出インベントリ検討会の進め方について

(2) VOC 排出インベントリの発生源の区分について

(3) VOC 排出インベントリの作成に係る情報収集について

4. 出席者

委員: 浦野委員長、指宿委員、神成委員、南齋委員、保坂委員

環境省: 松井大気環境課長、木田大気環境課長補佐、野沢大気環境課長補佐

事務局: 社団法人 環境情報科学センター

5. 議事内容

事務局より、VOC 排出インベントリ検討会について説明があり、委員の間で討議が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 都道府県別の排出量推計は統計データの制約から困難だが、化管法のデータは利用可能である。都道府県が独自に実施している VOC 排出量推計とも比較・検討を行う。
- ・ 別途経済産業省が作成しようとしている VOC 排出インベントリの作業と調整を行い、無駄な作業は避ける。
- ・ 平成 14 年度に作成した VOC 排出インベントリにおける問題点を整理する。
- ・ 平成 19 年度以降の排出量推計方法の変更については明かな間違いを修正する場合と精度向上が見込まれる場合以外には行わない。推計方法を変更する場合には、排出量の変化を把握するために遡及して推計を行う。

事務局より、VOC 排出インベントリの発生源の区分について説明があり、委員の間で討議が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 石油製品のライフサイクルをフローとして整理し、発生源、分野として大きな抜けや重複がないか確認する。
- ・ VOC の排出削減には国民の努力も含まれているため、家庭で排出される VOC 排出量も推計を行う。ただし、規制や自主的取組に関係しない排出ならば推計の対象としない。
- ・ 新規に追加する発生源についても、可能な限り国内の排出係数を用いて推計を行う。

事務局より、VOC 排出インベントリの作成に係る情報収集について説明があり、委員の間で討議が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 規制対象となっている 6 つの施設類型における施設規模基準を検討する際に業界団体

から収集したデータを十分に活用し不足部分について調査を実施する。

- ・ 調査で得られた結果は業界団体にフィードバックし十分に理解を得る。
- ・ 検討会は公開で実施されているため、臨時委員が所属している業界団体以外の方にも意見を出してもらえるようにする。

< 問い合わせ先 >

環境省水・大気環境局大気環境課 03-5521-8293